

| | | | | | | |
|-------------------|---|----------|--------|--------------|--------|--------|
| 事業名 | 都市計画道路 ひめゆり三原線(1工区) | | 事業区分 | 一般県道 道路改築 | 事業主体 | 沖縄県 |
| 事業箇所 | 那覇市壺屋～三原 | | | | | |
| 事業の諸元 | 道路改良工 L=0.20km W=29m(4車線) | | | | | |
| 事業の概要 | <p>県道46号線は、那覇市安里を起点とし、国場を終点とする延長約3kmの一般県道である。安里交差点の周辺では国道330号を並走し、栄町交差点には斜めに交差している。</p> <p>主要な渋滞ポイントである栄町交差点は、多支交差点(6支)となっており、信号現示は短く渋滞が発生している。そのため、姫百合橋交差点と那覇市道松川三原線を結ぶバイパスを整備し、栄町交差点へ流入出する交通を姫百合橋交差点へ移行させるものである。</p> | | | | | |
| 事業の必要性・効果等 | <p><必要性></p> <p>当該区間は国際通りを中心とした中心市街地や開発が進む新都心地区、市街地縁辺部の住宅地に隣接し、通過交通の他、それら周辺地区から発生集中する交通の受け皿となっており、慢性的な渋滞が発生している。県道46号線は栄町交差点に近接しており、渋滞の主要な原因となっている。</p> <p><効果></p> <p>栄町交差点を除去するとともに、姫百合橋交差点を現在のT字路から十字路交差点とすることにより、安里周辺地域の渋滞緩和を図るものである。</p> <p>また、ひめゆり三原線の整備により交通量を分担し、国道330号の渋滞緩和につながるものとなる。</p> | | | | | |
| 事業期間 | 事業採択 | 令和2年度 | 完了(予定) | 令和9年度 | | |
| 全体事業費 | 24 億円 | 補助・単独の別 | 補助 | 補助率 | 9/10 | |
| 費用対効果 | 総便益:B | 51.6 億円 | 総費用:C | 49.3 億円 | 基準年 | |
| | B/C = 1.1 | 走行時間短縮便益 | 40 億円 | 改築費 | 49 億円 | 平成22年度 |
| | (参考値)事前評価区間全体 | 走行経費減少便益 | 8 億円 | 維持修繕費 | 0.3 億円 | |
| | | 交通事故減少便益 | 3 億円 | | | |
| 事業着手の熟度・上位計画との整合性 | 当該路線は、沖縄地方渋滞対策推進協議会で策定された那覇都市交通円滑化総合計画の中長期計画道路整備路線として位置づけられている。 | | | | | |
| 環境への配慮 | 歩道部に植栽することにより緑陰を形成し、道路環境の美化につとめる。 | | | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 | 那覇市は「那覇市総合交通戦略」において、渋滞緩和や通過交通を排除するための道路整備として、当該路線を「概ね10年程度の主要施策」に位置づけている。 沖縄県で安里川改修計画があることから、連携した対応が必要である。 | | | | | |
| 概要図(位置図) | | | | | | |